

*** 住宅品質確保促進法の制度 ***	
1.瑕疵担保責任制度 (義務)	住宅に不具合、欠陥がでた場合、10年間保証の義務化 ①構造耐力上主要な部分 ②雨水の浸入を防止する部分
2-1.住宅性能表示制度 (任意)	住宅の性能(構造の安全性や省エネルギー性など)を数値化し、ランク付する事で、お客様が住宅を具体的に比較できるようにする制度。
2-2.紛争処理機関 の創設	住宅に関するトラブルを裁判外で、迅速に解決する専門機関が設けられます。(性能表示した住宅に対してあらゆるトラブルに対応)
平成12年4月1日施工	
*** 住宅品質確保促進法についての考え方 ***	
1.構造の安定 評価方法	地震や風等の力が加わった時の建物全体の強さ 評価方法: 壁量、壁の配置のつりあい等
2.火災時の安全 評価方法	火災の早期発見のしやすさや建物の燃えにくさ 感知警報装置の設置延焼のおそれのある部分の耐火時間等
3.劣化の軽減 評価方法	建物の劣化(木材の腐朽等)のしにくさ 防腐・防蟻措置、床下・小屋裏の換気等
4.維持管理への配慮 評価方法	給排水管とガス管の日常における点検・清掃・補修のしやすさ 地中埋設管の配管方法等
5.温熱環境 評価方法	暖冷房時の省エネルギーの程度 躯体・開口部の断熱等
6.空気環境 評価方法	内装材のホルムアルデヒド放出量の少なさ及び換気措置 居室の内装材の仕様、換気措置等
7.光・視環境 評価方法	日照や採光を得る開口部面積の多さ 居室の床面積に対する開口部面積の割合
8.音環境 評価方法	居室のサッシ等の遮音性能 サッシ等の遮音等級 *音環境は希望する方だけが性能評価を受ける選択項目です。
9.高齢者等への配慮 評価方法	バリアフリーの程度 部屋の配置、段差の解消、階段の安全性、手摺の設置、通路 出入口の幅員等

●お客様ご希望確認シート(No.1)

表示項目		希望等級
1.構造の安定	●耐震等級(構造躯体の倒壊等のしにくさ) ・地震に対する構造躯体の倒壊・崩壊などのしにくさの評価。	等級 3
		等級 2
		等級 1
	●耐震等級(構造躯体の損傷等のしにくさ) ・地震に対する構造躯体の損傷(大規模な修復工事が必要な程度の著しいもの)の生じにくさの評価。	等級 3
		等級 2
		等級 1
	●耐風等級(構造躯体の倒壊防止及び損傷防止) ・暴風に対する構造躯体の倒壊・などのしにくさ、損傷(軽微なものを除く)の生じにくさの評価。	等級 2
		等級 1
	●大積雪等級(多雪区域のみ) ・屋根の積雪に対する構造躯体の倒壊・崩壊のしにくさ、損傷(軽微なものを除く)の生じにくさの評価。	等級 2
		等級 1
2.火災時の安全	●感知警報装置設置等級 ・住宅内で火災が発生した場合にそれを知らせる装置の種類や設置場所(数量)によって、火災の早期覚知のしやすさの評価。	等級 4
		等級 3
		等級 2
		等級 1
	●耐火等級(開口部) ・延焼のおそれがある部分の開口部(窓、ドアなど)における、火災を遮る時間の長さによる評価。	等級 3
		等級 2
		等級 1
	●耐火等級(開口部以外) ・延焼のおそれがある部分の外壁や軒裏などにおける、火熱を遮る時間の長さによる評価。	等級 4
		等級 3
		等級 2
		等級 1
	3.劣化の軽減	●構造躯体の劣化対策等級 ・構造躯体に使用する材料の交換など、大規模な改修工事を必要とするまでの期間を延ばすための対策(木造住宅の場合、腐朽や白蟻対策)の程度。
等級 2		
等級 1		

●お客様ご希望確認シート(No.2)

表示項目		希望等級	
4.維持管理 への配慮	●維持管理対策等級(専用配管) ・専用の給排水管とガス管の、日常における点検・清掃・補修などの維持管理のしやすさ。	等級 3	
		等級 2	
		等級 1	
5.温熱環境	●省エネルギー対策等級 (仕様は地域によって異なります) ・住宅の断熱化などによる省エネルギーの程度。	等級 4	
		等級 3	
		等級 2	
		等級 1	
6.空気環境	●ホルムアルデヒド対策等級 「特定木質建材」を使用する場合のみ ・健康に有害とされるホルムアルデヒドの居室内装材からの放散量の少なさ。	等級 4	
		等級 3	
		等級 2	
		等級 1	
7.光・視環境	・居室の外壁又は、屋根に設けられた開口部の面積の床面積に対する割合と、各方位毎の比率を表示します。	単純開口率	%
		方位別開口比	
		東	%南 %
		西	%北 %
		真上	%
8.音環境	●透過損失等級(外壁、開口部) ・外部からの騒音を防ぐ程度として、開口部のサッシやドアの遮音性能の評価。(東西南北の各方位ごと)	等級 3	
		等級 2	
		等級 1	
9.高齢者等 への配慮	●高齢者等配慮対策等級 ・住宅のバリアフリーの程度の評価。 ・手摺の設置状況や段差の有無、寝室・トイレ・浴室の広さなどがチェックされ、高齢者などにとって安全な移動がしやすいか、介助は容易かなどの評価。	等級 5	
		等級 4	
		等級 3	
		等級 2	
		等級 1	

*この確認シートは、お客様が求められる性能を確認するためのものです。

しかし、全ての希望等級が満たされる訳ではありません。